



# 学校だより (19)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail [info@hjschl.org](mailto:info@hjschl.org)

## 20分の1 = 100分の100

校長 福原輝幸

100人の相手にそれぞれ1通の手紙を送らなければならない時に、不注意で1通を書いたつもりで書くことを忘れ、送ることをしなかったとしましょう。

当然のこととして、相手には手紙は届きませんから、手紙を受け取ることが出来ません。

この場合、送り手にとっては100人の内の1人ですから、わずか1%の過失ですが、手紙を受け取れない相手側から見た場合、手紙を受け取れないのですから、100%の損失となります。

人間と人間とのつき合いの中で、時として1%と100%とが同じ重さを持っていることがあります。

このことは、学校にも家庭にも当てはまります。

学校を例に取りましょう。

担任にとっては、学級の1人の子どもは20人の学級の中の1人です。つまり20分の1です。しかし、保護者にとっては、我が子は100分の100です。

教育を職業としている教師は「20分の1」と「100分の100」を、常にイコールにしなければなりません。

教育と言う仕事がやりがいのある仕事、しかし責任の重い仕事と言われる所以は、このあたりにありそうです。

家庭にも同じことが言えます。

3人姉妹がいるとしましょう。

親は、平等に育てているつもりですが、一番下の妹は「お姉ちゃんばかり新品の服を買って、私はお姉ちゃんのお古ばかり」となることがあります。服の購入では、お姉ちゃんは「1分の1」になり、一番下の妹は「3分の1」になります。

姉と妹のちがいはちがいとして、自戒したいものです。

## 運動会

笠原 茂生

運動会を楽しもう

こけることだってあるさ

ぶつかることだってあるさ

でも、運動会を楽しもう

力いっぱいやりぬこう

後悔（こうかい）もあるさ

悔（く）やむこともあるさ

でも、力いっぱいやりぬこう

大声（おおごえ）で

応援（おうえん）しよう

手を繋（つな）ごう

声を掛（か）けよう

励（はげ）まそう

みんなの力で作り上げる

語り合える運動会

思い出の運動会

よかったといえる運動会

## 保護者の皆様へ

競技・演技場内に入ってカメラ・ビデオの撮影は、子どもに**迷惑**となります。

慎んでいただくよう願います。（裏へ）